



『御影北部認知症予防と支え合いのまちづくり運動』

講演会 7月21日 テーマ『認知症予防の可能性と地域の役割』

第1回 物忘れ相談会 9月8日(日)

第2回 物忘れ相談会 10月6日(日)

第3回 物忘れ相談会 11月24日(日) 開催
(申し込み希望者はお問い合わせください)

認知症を予防し、明るいまちづくりを推進する住吉・御影地域の会
代表 高田 寛子



高齢化社会を向かえ、マスコミ等でも大きく取りあげられるようになったのが認知症の方の増加問題です。私達御影北部地区でも、物忘れの心配のある方の相談を受けることが多くなりました。

昨年度、認知症講演会でお話をいただいた山田達夫先生から「認知症患者の増加を大変心配しているが、地域みんなで活動することで症状が改善する。もし真剣に活動に取り組むんだったら手伝ってあげるよ。」と仰っていただきました。様々な検討を重ねた結果、活動を始めることになりました。地域の諸団体も協力しようと言って下さり7月の地域での講演会を皮切りに、9月より相談会を開始いたしました。相談会には9月11名、10月9名の参加があり時間もかなりかかりましたが、参加した方々から参加して本当に良かったとの感想を頂いております。年相応の物忘れの方、また軽度認知障害と判断された方もあり、山田先生より紹介状を書いて頂き、専門医やかかりつけ医への紹介などきめの細かな対応をして頂きながら、治療へと連携も進んでいます。

また、地域の体操会やおしゃべり会にもお誘いし、地域の方と交流を深めていらっしゃる方、再度ご家族と相談会に参加され、ご本人との接し方の助言を受けられた方もいらっしゃいます。

11月24日に3回目の相談会がありますが、この相談会に多くの専門職の方にボランティアとして参加していただき、気くばりをしながら検査をしていただいたことに感謝しております。私たちの地域全体が見守り合い、助け合いの活動で、支え合いのまちが出来あがることを願っております。



講師 山田 達夫 先生

一般社団法人 巨樹の会
関東グループ病院 関東統括本部長
元 福岡大学医学部 神経内科学教授

----- 山田 先生 ご紹介 -----

山田先生は「認知症予防はまちづくりである」とお考えのもと、九州各地で認知症予防活動を指導してこられました。

- 1998年 福岡大学病院で「もの忘れ外来」をスタート 物忘れの早期発見の取り組みを開始される
- 2000年 福岡痴呆ネットワーク発足により、介護活動に参入
- 2004年 大分安心院町との連携で地域医療へ介入 以後、福岡・大分・宮崎・北九州で地域医療に取り組むつ認知症の予防活動に邁進してこられた
- 2011年 社団法人巨樹の会 関東グループ病院 関東統括本部長に
- 2013年 東灘区御影北部「認知症予防と支え合いのまちづくり運動」にご参加いただき、講演会・相談会がスタート。



第3回日本認知症予防学会学術集会報告

9月27日(金)～29日(日)の3日間にわたって、新潟コンベンションセンター朱鷺メッセに於いて、第3回日本認知症予防学会学術集会が「匠と語り部の出会い～他職種協働と地域連携～」をテーマに開催されました。

当法人からは、「認知症早期ケアに繋がる地域での啓発のあり方とは? 一出席前検診におけるアンケートまとめからの検討」(伊藤米美)

「認知症予防教室 創作料理教室を実施して」(松井左知子)の2演題を発表しました。

これから超高齢化・認知症患者急増時代を向かえるにあたり、認知症予防は大きな課題であり、その対策は急務となっています。

早期発見の医学的研究は進みつつありますが、地域の中で支え合いの輪を広める私たちの活動の重要性を改めて痛感しました。

一人でも多くの方に、私たちの活動を理解していただき「他職種協働と地域連携」の実現に向けてますます会員の皆さま・地域の皆さまのご協力をお願い致します。

